

【参考】**■阪急阪神全線カーボンニュートラル運行の概要**

阪急阪神ホールディングスグループでは、サステナビリティ宣言において「環境保全の推進」を重要テーマの一つとして定め、地域とともに発展してきた企業グループとして、脱炭素社会の実現に向け、自らの事業活動のみならず、まち全体の環境負荷の低減を目指した取組を推し進めています。本年4月から阪急阪神全線の列車運行及び駅施設等で使用する全ての電力を実質的に再生可能エネルギー由来の電力とし、CO₂排出量ゼロで運行しています。ご利用いただくお客様に再生可能エネルギーを身近に感じていただくことで、脱炭素化への機運醸成や再生可能エネルギーの活用の後押しにも貢献していきたいと考えています。

■環境省「デコ活」とのタイアップ

阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念ラッピング列車内に、「デコ活」のポスターを掲出し、日々の暮らしの中での環境に対する心がけを周知しています。今回のワークショップにおいても、環境省の協力のもと、官民が一体となって、公共交通の利用促進など脱炭素な暮らしの実現に向けた取組を推進していることをお客様に認知いただきたいと考えています。

■阪急阪神ホールディングスグループの「環境保全の推進」について

「ともに創ろう。澄みわたる未来と、心はずむ暮らしを」をスローガンに掲げ、サプライチェーンを超えた「社会全体の脱炭素化の推進」、緑化・自然保護による「地域の魅力向上」、廃棄物の削減・リサイクルの促進を通じた「環境負荷低減と付加価値向上の両立」をテーマに、環境に配慮した取組を推進していきます。

詳しくはホームページをご参照ください。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/materiality/environment/>



環境分野の取組のイメージ

以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ ほか